

## 「育む さっぽろっ子 教育の大綱」策定に当たっての思い

この大綱は、未来を担う子どもたちを健やかに育みたいという思いで、教育の振興に関する施策を総合的に推進するための方針として策定したものです。

大綱には、「子どもたちの中にある『生きる力』を育み、大きく伸ばすことで、世界の舞台で活躍する『さっぽろっ子』を育てます。」という「教育の方針」を掲げました。

「生きる力」という言葉には、今後さらに複雑化することが予想される社会において、自分の場所を作っていく力、物事を解決していきける力を身に付けてほしいという思いを込めています。

また、「世界の舞台で活躍する」という言葉には、札幌で育つ子どもたちが、広く世界に意識を向けながら、いろいろな場面において多様な視点で物事を考えられるようになってほしいという願いを込めました。

この「教育の方針」に沿ってどのような取組を推進していくのかを「取組の柱」として表現しました。

1つ目の柱は、子どもたちの「生きる力」を育むためには、その土台となる環境を整えることが必要であると考え、「子どもたちが安心して生活し学習することのできる環境を整えます。」としました。

2つ目の柱は、子どもたちが自分自身の可能性を見出し、持てる力を大きく伸ばしていくには、日頃の学習はもちろんのこと、スポーツ、芸術などあらゆる分野で成長の機会や場を増やすことが大切だと考え、「学びや成長の機会を充実させ、子どもたちの可能性を広げます。」としました。

3つ目の柱は、札幌で育った子どもたちには、幅広い視野や創造性を身に付けることで、さまざまな分野で活躍してほしいと考え、「ふるさと札幌への思いを持ちながら国際的な視野で創造的に考えることができる子どもたちを育みます。」としました。

私が目指すまちづくりの方向性は、教育委員会が策定した「札幌市教育振興基本計画」にある「札幌市の教育が目指す人間像『自立した札幌人』」と合致していることから、具体的な教育施策は同計画に委ねています。

まちづくりの原点は、人づくりです。

この大綱の下、教育委員会とより一層連携しながら、教育行政を推進していきます。

札幌市長 秋元克広